

よいち町

2024.9
No.212

議

会



だ

よ

い



キッズルームあつぷる(ぐんぐんの日)



第2回定例会・第3回臨時会・第4回臨時会の審議結果

○主な審議結果 P2～5

- ・放課後児童クラブ条例の一部改正案など5件の条例改正案を可決
- ・ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める要望意見書など7件の意見書を可決

○常任委員会の動き P6～7

○一般質問 P8～11

- ・8議員が町政全般について13項目を質問

○議員派遣型の懇談会“どこでも余市町議会”を開催します P12

- ・開催を希望する5名以上の団体を募集します。

審 議 内 容

令和6年第2回定例会 第3・4回臨時会

令和6年6月24日～26日に開催の第2回定例会での審議結果、5月30日開催の第3回臨時会、7月22日開催の第4回臨時会の審議結果についてお知らせいたします。

補正 予算

一般会計

□ 令和5年度一般会計補正予算
(第7号)【専決処分】
総額1億1310万円を追加

◆主な補正内容

○寄附に伴う各種基金積立金
1億8731万円

○各特別会計の決算見込みによる精算

・介護保険特別会計繰出金
△2380万円

・国民健康保険特別会計繰出金
372万円

・後期高齢者医療特別会計繰出金
△496万円

・水道事業会計負担金
△19万円

□ 令和6年度一般会計補正予算
(第1号)

総額1億3000万円を追加

◆主な補正内容

○余市運動公園野球場改修工事
1億3000万円

□ 令和6年度一般会計補正予算
(第2号)
総額3億9920万円を追加

◆主な補正内容

○各種基金積立金
2億7070万円

○アイヌ文様車両運行事業委託料
522万円

○児童手当システム改修委託料
680万円

○認可外保育施設等利用助成金
555万円

○町営斎場建替基本計画策定委託料
2250万円

○資源物分別収集運搬処理委託料
446万円

○地域計画策定委託料
291万円

○ガストロノミーツーリズム推進事業
1079万円

・余市港機能向上計画策定委託料
1079万円

・イベント開催事業負担金
780万円

○再生可能エネルギー導入調査委託料
4225万円

○海の歴史学習補助教材制作委託料
245万円

□ 令和6年度一般会計補正予算
(第3号)

総額1218万円を追加

◆主な補正内容

○地域公共交通活性化協議会負担金

特別会計

□ 令和5年度介護保険特別会計
補正予算(第5号)【専決処分】
総額1億9337万円を減額

◆主な補正内容

・総務費、保険給付費、地域支援事業費、基金積立金の確定見込みによるもの

□ 令和5年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

【専決処分】
総額3億6446万円を減額

◆主な補正内容

・保険給付費の確定見込みによるもの

□ 令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
【専決処分】
総額795万円を減額

◆主な補正内容

・総務費、後期高齢者医療広域連合納付金、諸支出金の確定見込みによるもの

□ 令和5年度水道事業会計補正
予算(第5号)【専決処分】
総額2559万円を追加

◆主な補正内容

・固定資産除却費の増額によるもの

□ 令和6年度介護保険特別会計
補正予算(第1号)
総額6610万円を追加

◆主な補正内容

・介護給付費準備基金への積立によるもの

□ 令和6年度水道事業会計補正
予算(第1号)
総額770万円を追加

◆主な補正内容

・黒川中通り2号線道道昇格に伴う実施設計修正業務

条例案

□余市町放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例案

放課後児童クラブの増設に伴う所要の改正を行いました。

□余市町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

府令の改正に伴う職員配置基準の見直しによる所要の改正を行いました。

□余市町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例案

省令の改正に伴い、引用条項の改正を行いました。

□余市町地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

省令の改正に伴い、地域包括

支援センターの人員に係る基準の改正を行いました。

□余市町下水道条例の一部を改正する条例案

国土交通省が定める標準下水道条例の一部改正に伴い、排水設備工事責任技術者の専属規定の改正を行いました。

その	の
他	案件

□付託案件の審議結果

○補聴器購入助成制度の創設を求める陳情書

加齢性難聴者の補聴器購入に助成を求める連絡会、共同代表安達稔氏、清水亘氏より提出され令和6年第1回定例会において民生教育常任委員会（茅根英昭委員長・白川栄美子副委員長）に付託し、審査を行っていた『補聴器購入助成制度の創設を求める陳情書』については、第2回定例会で委員長報告のとおり不採択としました。なお、委員長報告がなされた後、討論（賛成討論1名、反対討論1名）がなされました。

賛成討論

大物 翔議員

補聴器購入助成制度の創設を求める陳情書について賛成の立場から討論を行う。陳情は議会に補聴器購入独自助成の条例制定を求めるもので、その権限は議会も有しているが予算編成する権限はない。このまま条例を先発してつくと有名無実の存在となるおそれがあり陳情者の願意を果たすことができないので無責任に条例をつくるわけにはいかない。これが委員会では採択となった大きな理由と推察する。議会の一存で一方向的に条例をつくり町に実施を要するような行動は必ずしも適切ではない。ではなぜ今回あえて条例制定に向けて動くべきと考えるのか。それは長期的にみて確実にこれが必要になると考えており、現在、本町に住む65歳以上の割合は40%を超え、国立長寿医療研究センターのホームページには軽度難聴以上の人の割合は65歳以上で急増し、70代前半では男性の約5割、女性の約4割、70代後半では男女ともに約7割、80代では男性が約8割、女性の約7割に軽度以上の難聴があると見られていますと記さ

反対討論

佐藤剛司議員

れている。今の国の制度では重度難聴者しか障害者手帳を取得することは困難で、軽度、中度の難聴者を支援する枠組みは十分に整備されていない。障害者福祉の視点で見た場合、対処療法的な取組となり予防の観点から広く手を伸ばそうとする場合、悪化する前に手を打つための支援制度をつくり支えることが必要であり、介護予防、予防医療の観点からもこうした制度をつくっていくことが大切である。耳の聞こえの問題は高齢者に限らず全世代に重要なことであり、補聴器装着率を高める取組は個々の町民だけではなく地域社会全体にとっても大変多くの利益をもたらす。私たちはこれまで国に対して意見書を全会一致で採択してきた歴史があり制度の必要性は全員が必要と判断している。国がこうした制度をつくるには多くの時間を要する。ゆえにその制度が実現していく大きな展望の第一歩として陳情を採択し、まずは余市町民を対象とした制度をつくり同時に国に対して早期実施を求めていくことが住民福祉の充実を目指す自治体、議会の大切な責務である。以上を申し上げ議員各位の賛同を求め討論とする。

補聴器購入助成制度の創設を求める陳情書について明政会を代表して反対の立場で討論を行う。今回、余市町議会にて加齢性難聴者の補聴器導入助成制度を創設するための条例制定を要望する陳情書を受け取り、民生教育常任委員会において、その内容を精査し慎重に議論した。今回の陳情書は議会において条例制定を求める趣旨で議員には条例の提案権があるが、新たな制定、改正に予算が伴う場合は必要な予算措置が適確に講ぜられることとなるまでの間は条例を提案することは適当ではなく、現状余市町において必要な予算措置が行われていないことから、国が主導して行うべき制度であることを踏まえ、実効性の低い条例の制定になるとの考えから採択に反対するものである。しかし、実際に各世代において難聴者がおり、社会活動に不自由が生じている現状があることから、引き続き補聴器導入補助や難聴者への支援拡充を国に対して求めることについては継続するべきである。

審 議 内 容

□工事請負契約の締結について

○令和6年度湯内漁港線法面对策工事

契約金額 1億725万円

工期 令和6年6月4日

至 令和7年3月21日

請負業者 和田建設工業株式会社

社

○令和6年度橋梁補修工事（第1富沢橋）

契約金額 7436万円

工期 令和6年6月4日

至 令和7年3月21日

請負業者 株式会社古垣建設

○令和6年度余市運動公園野球場改修工事

契約金額 1億2738万円

工期 令和6年7月25日

至 令和7年3月21日

請負業者 中村建設株式会社

○令和6年度国道229号電線共同溝に伴う配水管移設工事

契約金額 8642万5900円

工期 令和6年7月25日

至 令和6年12月20日

請負業者 高橋・堀川特定共同

企業体

○令和6年度国道5号老朽管布設替工事

契約金額 7727万8300円

工期 令和6年7月25日

至 令和6年12月20日

請負業者 高橋・堀川特定共同

企業体

□町有財産の取得について

○じん芥収集車

価格 1897万6000円

取得先 北海道いすゞ自動車株式会社小樽支店

○除雪作業車（ロータリ除雪車）

価格 5973万8840円

取得先 北海道川崎建機株式会社俱知安支店

○道路維持作業車（ダブルキャブトラック）

価格 691万6419円

取得先 株式会社余市自動車工業

業

議会のホームページはこちら

<https://www.town.yoichi.hokkaido.jp/gikai/index.html>

議会のホームページを随時更新し、議会からの情報発信に努めています。更なる充実に向けて忌憚のないご意見をお寄せください。

余市町議会

検索



議会を傍聴してみませんか

《次の定例会は9月上旬に開催の予定です》

- ◆本会議には、役場3階の議会事務局で、傍聴人受付簿に住所・氏名を記入だけで傍聴できます。傍聴定員は38人となっており、会議当日の先着順となっています。
- ◆常任委員会や特別委員会は、委員長の許可を得なければ傍聴できないことになっていますが、プライバシーに関わる審議など特別の事情がない限り傍聴を認めています。



※詳しい日程などは、議会ホームページをご覧になるか、議会事務局（TEL 21-2132）へお問い合わせください。

議案に対する各議員の賛否一覧

各議員の賛否結果が分かれた案件（欠席・退席含む）を掲載しています。

第2回定例会 議案に対する各議員の賛否一覧表

賛成：○ 反対：× 欠席：欠 退席：退

件名	審議結果	明政会						よいち未来					公明党		会派に属さない議員	
		佐藤剛司	内海富美子	庄巖龍	中井寿夫	伊藤正明	茅根英昭	山本正行	尾森加奈恵	岸本好且	川内谷幸恵	土屋美奈子	白川栄美子	寺田進	あじすたミート	大物翔
補聴器購入助成制度の創設を求める陳情書	不採択	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
令和6年度余市町一般会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度余市町介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第4回臨時会 議案に対する各議員の賛否一覧表

工事請負契約の締結について （令和6年度余市運動公園野球場改修工事）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
---------------------------------------	------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

※藤野博三議長は採決には加わりません。

要望意見書の審議結果

第2回定例会で提出のあった意見案についてお知らせします。

件 名	議案の提出者	審議結果	意見書の提出先
ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	内閣総理大臣ほか関係大臣 衆議院議長、参議院議長
難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	内閣総理大臣ほか関係大臣 衆議院議長、参議院議長
下水道のウォーターPPP導入に向けての支援等を求める要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	国土交通大臣、地方創生担当大臣
災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	総務大臣ほか関係大臣
地域における「こども誰でも通園制度」の制度拡充等を求める要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	財務大臣、こども政策少子化対策担当大臣
地方財政の充実・強化に関する要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	内閣総理大臣ほか関係大臣
北海道最低賃金改正等に関する要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	北海道労働局長

※全会派の同意が得られた要望意見書は議会運営委員会委員が提出者となっています。

常任委員会の動き

【総務産建常任委員会】

閉会中における各常任委員会の活動状況について、主要な調査事項などをお知らせします。
各常任委員会の記録は、町立図書館に配置しておりますので、ご利用ください。

道の駅再編整備について調査を行いました。

【第9回】

(令和6年4月25日開催)

○令和6年度町道側溝布設及び舗装工事について(所管事務)
令和6年度の工事予定箇所について路線ごとの工事内容を現地調査の上、説明を受け、審議しました。

【他の審議案件】 (所管事務)

○余市町地域防災計画の修正について

(報告案件)

○町道の通行止めについて

○余市町都市計画マスタープランの策定について

○余市町立地適正化計画の策定について

○第2次余市町食育推進計画の策定について

○フィッシャリーナ施設内除雪作業に伴う事故について

【第10回】

(令和6年5月20日開催)

○職員不正事案に関する報告書について(所管事務)

昨年の職員の不正事案を受け、コンプライアンス委員会を設置し、組織の現状、課題の把握及び今後の服務規律違反事件の再発

防止に係る検討を行い、職員不正事案に関する報告書を策定し、全ての職員が公務員倫理を遵守する意識をこれまでに以上に高く持つためにコンプライアンス研修やアンケート調査を今後も継続的に実施するなど、実効性の高い再発防止に向けた取組を行い、二度と不祥事を起こさない組織づくりを推進し、町政への一日も早い信頼回復に努めていく旨の説明を受け、審議しました。

○道の駅再編整備について (所管事務)

道の駅再編整備に係る用地購入の進捗状況や、本年6月8日に開催予定の町民説明会で事業エリア全体における施設の配置案、道の駅施設内に整備する機能などの説明を行うこと、また、基本設計業務に関しては、当初の見込みより期間を要することから全体的に予定の見直しを行い、令和7年3月に基本協定を締結、令和7年度に実施設計業務を行い、令和8年度から9年度にかけて建設・外構工事、エリアマネジメント推進業務、令和10年度に維持管理・運営に関する業務及び供用開始を目指す旨の説明を受け、審議しました。

○令和5年度除排雪等実績報告 について(所管事務)

年間降雪量は前年度と比較し14センチメートル多く、過去5年間の平均降雪量と比較しても38センチメートル多い状況であり、排雪の実施期間は前年度より5日多い38日間であったことについて説明を受け、審議しました。

【他の審議案件】 (所管事務)

○統一的な基準に基づく令和4年度連結財務諸表について

(報告案件)

○令和5年度における余市町情報公開条例の運用状況について

○余市循環線について

○余市運動公園野球場の改修について

【第11回】

(令和6年6月7日開催)

○ガストロノミーツーリズム推進事業について(所管事務)

本町の食材を美食へ高付加価値化し、ワインなどと共に食文化として一体的に味わうことができるようブランディングを図り、活力のある地域づくりを推進することを目的に、デジタル田園都市国家構想交付金を申請

しており、既存事業の増額や新規事業の交付決定を受けたことから、その事業概要について説明を受け、審議しました。

【他の審議案件】 (所管事務)

○JR余市駅周辺における交通結節点機能のあり方に関する検討について

○6次産業化推進に係る取り組み状況について

○下水道広域化推進総合事業について

(報告案件)

○ふるさと納税について

○外部人材の活用状況について

○余市宇宙記念館運営状況について

○余市町再生可能エネルギー導入事業化調査について

○第56回北海ソーラン祭りについて

○地域計画の策定について

○河川支障木の伐採について



総務産建常任委員会現地調査

常任委員会の動き

【民生教育常任委員会】

閉会中における各常任委員会の活動状況について、主要な調査事項などをお知らせします。
各常任委員会の記録は、町立図書館に配置しておりますので、ご利用ください。

町営斎場建替事業について調査を行いました。

【第10回】

(令和6年4月17日開催)

○陳情第1号 補聴器購入助成制度の創設を求める陳情書(付託案件)

令和6年第1回定例会で付託された「補聴器購入助成制度の創設を求める陳情書」に関わり、町としての見解、意見等について説明を受け、審議しました。
なお、本付託案件は継続審査としました。

※3頁の審議結果参照

○第7期余市町障がい者計画・障がい福祉計画及び第3期余市町障がい児福祉計画について(所管事務)

実施したパブリックコメントの意見はなく、3月28日開催の余市町障がい者計画等懇談会で承認され策定された計画について説明を受け、審議しました。

○第3期余市町子ども・子育て支援事業計画の策定について(所管事務)

令和7年度から令和11年度までを計画期間として策定作業を予定している計画について、余市町子ども・子育て会議で計画内容の協議、検討を行い、子育てに関するニーズ調査やパブリック

コメントを実施する旨の説明を受け、審議しました。

○余市町放課後児童クラブの運営について(所管事務)

利用者数の増加に伴いクラスを増設するため令和6年度予算に計上した改修工事について実施時期と開設が10月となる旨の説明を受け、審議しました。

○町営斎場建替事業について(所管事務)

2月26日に開催された町営斎場建替事業に係る地域説明会について、これまでの経過や建設候補地、今後の予定と出席者の意見交換を行った旨の説明を受け、その後調査実施に向けた現地確認などの準備をし、早期供用開始に向けて事業を進めていきたい旨の説明を受け、審議しました。

○余市町国民健康保険税条例の一部改正について(報告案件)

政令の改正に伴い、賦課限度額(後期高齢者支援金分)と軽減判定所得を引き上げる改正について報告を受けました。

【他の審議案件】

(報告案件)

○余市町行政手続における特定

の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正について

【第11回】

(令和6年5月16日開催)

○余市町クリーンセンター整備計画について(所管事務)

第2期一般廃棄物最終処分場の拡張整備に関わり、今年度から実施する埋立期間や埋立量設定など事業計画に係る条件設定を行う基本設計業務について、現地調査の上、説明を受け、審議しました。



民生教育常任委員会現地調査

○北しりべし相談支援センター事業実績について(所管事務)

北後志5か町村で特定非営利活動法人しりべし圏域総合支援

センターに委託している障がい者の自立や社会生活へ適応する取組などの相談支援業務について、令和5年度の相談件数や支援方法、支援内容の説明を受け、審議しました。

【他の審議案件】

(所管事務)

○令和5年度一般ごみ・資源物の収集処理実績について

○小樽・北しりべし成年後見センター事業実績について

○後期高齢者医療制度保険料について

(報告案件)

○省令改正に伴う関係条例の改正について

(付託案件)

○陳情第1号 補聴器購入助成制度の創設を求める陳情書

【第12回】

(令和6年6月6日開催)

○陳情第1号 補聴器購入助成制度の創設を求める陳情書(付託案件)

今後の委員会審議の充実を図るため、参考人として陳情者に委員会へ出席願ひ、意見を聴取しました。

一 般 質 問

第2回定例会での一般質問は、8人の議員から13件の町政全般に対する質問がありました。

一般質問は、一問一答方式により、質問、答弁を合わせ制限時間45分の範囲内で行い、議会だよりに掲載している内容の要約は質問した議員自らが要約し、その原文を掲載しています。

尾森加奈恵 議員

(よいち未来)

余市・小樽間の鉄路とバス転換について

質問 尾森議員 北海道新幹線並行在来線対策協議会(以下「協議会」)では、札幌延伸開業時に並行在来線廃線、バス転換の方向で協議が進んでおり、後志ブロック会議も昨年5月以降開催されておらず、その間に札幌延伸の延期が正式に発表がされているが、今後の本町の公共交通について、次の事項を伺いたい。

①本町が最善と考えるバスルートやダイヤの構想について。

②協議会で迅速性と利便性が損なわれないバス転換が実現可能な根拠としてどのようなものが提示され、また、実現不可能となった場合の考えについて。

③並行在来線の経営分離の前倒しに関する協議が開催された場合の本町の姿勢について。

④今年1月に余市駅で乗客が乗車できない積み残しが2度発生し、観光にも影響が出る問題だと思いが、本町の見解について。

⑤バス転換を容認する以前は、余市小樽間の鉄路を第三セクタ

ー方式で残す方法を検討されていたが、財政負担の理由から断念したと認識しており、国から最大50%の補助を受けられる社会資本整備総合交付金の活用は検討したのか。

答弁 齊藤町長 ①余市小樽間に関しては、常に往復するシャトル便が確保できれば一つのメリットになると考えており、新幹線駅へのアクセスについても考えていかなければならないと考えています。

②目的地に直行するバスルートの設定や高速道路の活用による所用時間の短縮など利便性の向上に関する取組の重要性について北海道と確認しており、実現不可能となった場合は、同意するに当たって、大量輸送、迅速輸送の確保など利用者の便益の担保を前提とした条件に反することから、バス転換の同意を撤回することになります。

③前倒しに関して特に求めるつもりはありません。

④積み残しの原因の調査や対策は事業者が講じるべきであると考えます。

⑤ブロック会議等で活用を検討をした経過はありませんが、バス転換の前提条件が覆った場合、余市小樽間の鉄道の議論が再燃する可能性はありますが、社会

資本整備交付金を使ってどの程度まで削減できるのか算出をするのではないかと考えます。

大物 翔 議員

(無会派)

温水プールの整備について

質問 大物議員 余市温水プールが令和3年4月に休館とな

ったが今も必要性を求める声が寄せられ続けており、現在学校の水泳授業は隣の施設を借りて行われ、授業時数も減り、授業以外の時間帯に子どもたちだけで気軽に遊びに行ける状況ではなく、好評だった高齢者向けのブルーウオーキングなど健康維持のための取組も難しくなっているが、都市計画マスタープランには、温水プールは施設整備に向けて検討と記されており、

現施設解体の時期や準備の進捗、施設整備に向けた方向性について伺いたい。

答弁 前坂教育長 現施設解体に向け本年8月30日までを委託期間としてアスベストの含有分析調査中であり、整備に向けた方向性は、全町的な公共施設の

在り方について協議が進められる中で示されるものと考えます。

質問 大物議員 解体資金の調達やスケジュールを伺いたい。

答弁 前坂教育長 アスベストの有無で解体費も大幅に違うので、その有無が確定した段階で財政当局等とも協議し解体工事に係る設計業務を行う考えです。

質問 大物議員 何とか建て替えを行いたいという考えなのか。

答弁 前坂教育長 都市計画マスタープラン、また上位計画である総合計画の中にも明記されており、必要性については認識しています。

質問 大物議員 施設を更新する場合、複合化の方向で検討しているのか。

答弁 前坂教育長 プールに限らず、あらゆる公共施設の集約化、複合化がうたわれ、ある意味必然であると理解しており、まだ断定的なことは言えませんが、仮にプールのような社会体育施設整備の場合は、当然まちづくりに沿った様々な計画との整合性、効率性なども十分に考慮した中で進められると考えております。

質問 大物議員 各計画は相互に関連し合っているが、担当している部署がそれぞれにまたがっているため、今後検討して

一 般 質 問

いく際にこういった枠組みになるのか。

答弁 前坂教育長 いろいろな計画がひもづいており、町長部局とも十分協議をした中で、場合によってはプロジェクトチームのような組織も形成された中で議論が進められると考えます。

佐藤 剛司 議員
(明政会)

余市町地域防災計画について

質問 佐藤議員 近年様々な自然災害が起き普段から災害に備えなければならぬ状況にあり、余市町地域防災計画に基づき、平常時にできることについて次の事項を伺いたい。

①避難所ではトイレや更衣室、入浴施設などを女性や子ども等が安全に使用できるよう配慮に努めるものとするところがあるが、避難所として機能する前に平常時から女性専用、子どものいる家族専用等区分けや階分けをしておく必要があると考えるが、見解について。

②余市町地域防災計画では、避難所のルールの下にペットの飼

育管理を行うことが必要であり、ペットのための専用スペースを確保するよう努めるものとする

とあるが、避難所のルールとは何か、また、ペット専用スペースとはどのようなものか。

③平常時の対応において、避難所運営手引（マニュアル）の作成、担当者以外でも避難所を開設できる簡易な手引の整備とあるが、手引（マニュアル）は各避難所に設置されているのか。

④災害予防計画の中に、地域の防災活動におけるリーダーの育成に努めるものとするところがあるが、リーダーの育成に関する施策はどのようなものがあるか。

答弁 齊藤町長 ①トイレや授乳施設など可能な限り男女別とすることや避難所全体の照明設備を整備し、避難所資機材の整備を進め、また、避難所の運営に関しても女性の視点を取り入れることや避難所の巡回などを行い被害の防止を図りたいと考えます。

②避難所のルールとは、避難所運営マニュアルで定める基本的な事項であり、ペットとの同伴避難については臭い等の問題から居住スペースと十分な距離を取ったペット専用スペースを設けることなどを定めており、収容人数が多い避難所では同伴可

能と考えておりますので今後細かなルール等を具体化します。

③今年度から中央公民館と福祉センターに避難所開設に必要な受付表示札、筆記具などの資機材をセット化し、避難所運営マニュアルと共に設置しており、町内各避難所にも順次配置してまいります。

④防災学習会や防災講和などを積極的にを行い、その中でリーダーの育成及び地域の防災力の向上を図っていききたいと考えます。



余市町和順防災学習会

寺田 進 議員
(公明党)

指定緊急避難場所・避難所の管理について

質問 寺田議員 町内には66か所の指定緊急避難場所があり、38か所の指定避難所と重複しているが、日常的に出入りの少ない梅川農業構造改善センター、白岩・黒川会館などの管理について、次の事項を伺いたい。

①老朽化した建物も見受けられるが、破損がある場合は誰がどのように確認し、修理をするのか。

②駐車場などの除雪、除草、敷地内の樹木の管理について。

答弁 齊藤町長 ①町有の避難所施設の確認、修理はそれぞれ所管する担当課で行っています。②各所管課の管理方式により管理人や利用者、地域住民により適宜実施されており、倒木や電線等へ接触するおそれがある樹木は、各所管課から業者等に発注し伐採や枝打ちを実施しています。

質問 寺田議員 地域の会館は地元の方に依頼していると答弁があったが、人口減少、高齢化

により手が回らないのが現状であり、また、施設の故障を直すときに、どのように町に伝えればよいのか分からないと区会から伺っており、どのような判断基準で誰がどのようにするのかマニュアル等により再度区会等に徹底することは可能か。

答弁 齊藤町長 各区会の連絡員と区会が連絡を取り合うことで会館の運営に関し情報のやり取りをすることは可能だと考えます。

質問 寺田議員 黒川会館では窓ガラスの破損、白岩会館では駐車場の雑草が伸びており、また梅川農業構造改善センターでは木の枝が電話線にかかり、樹木はある程度の高さになると降雪等での枝折れや倒木の危険が伴うが、枯れ木が斜めになり今にも倒れそうなものもあり、現実にもこういことが去年からそのままになっているので、地域連絡員がしっかりと確認をして区会と打ち合わせることや、定期的な町の管理をするべきではないか。

答弁 齊藤町長 樹木の管理は町と区会が随時相談しながら、町が対応していますので、引き続きしっかりとやりたいと考えます。

一 般 質 問

内海富美子 議員

(明政会)

余市町における地域公共交通 と高齢者への施策について

質問 内海議員 第5次余市町総合計画をはじめ、令和6年度

町政執行方針の都市計画に関する施策では人口減少、少子高齢化、公共交通ネットワークとの連携等を踏まえ、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり、また、地域福祉に関する施策では地域包括ケアシステムの充実、高齢者が可能な限り住み慣れた地域でこれまで培ってきた経験や知識など有する能力で自立した生活を営み、安心して暮らすことができるよう地域福祉の推進に努めるとあるが、次の事項を伺いたい。

- ①余市循環線の利用状況と今後の運行、オンデマンド型交通の取組について。
- ②高齢者に対する食育の取組について。
- ③住居サポート住宅など単身高齢者への支援強化について。
- ④高齢者に対する防災訓練の実施状況について。

答弁 齊藤町長 ①令和5年度は1810便が運行され、輸送人員は1万7410人であり、また4地域を対象に本年8月から来年2月まで公共交通空白地域の解消を図るためオンデマンド交通の試験運行を予定しており、余市町にふさわしい地域公共交通の在り方についてさらなる検討を進めます。

②特定検診の結果に基づく支援や健康学習会の栄養相談において食に関する正しい知識の普及啓発を行っており、今後も健康の維持増進につながる取組を推進します。



このステッカーが目印です



オンデマンドバス運行車輛

③暮らしの基盤となる住まいの確保支援は大変重要と考えており、今後も住まいや福祉関係の機関と共有しながら調査研究をしていきます。

④年齢を問わず助け合う共助意識の醸成を目的として、定期的に防災訓練を実施しており、今後も全ての町民の安全、安心に向けた防災訓練を実施します。

質問 内海議員 ②食育推進計画の中で高齢層への食育の重大性の増大と記されているが、どのような視点で重大性と捉えているのか。

答弁 齊藤町長 高齢に伴い体力や体力が衰えフレイルに陥ること、栄養不足や肥満を同時に解決していくことにより、健康なまま年齢を重ねていく状況にすることが非常に重要であることから、食に関する知識の啓発が大事だと考えます。

川内谷幸恵 議員

(よいち未来)

本町の交通安全対策 について

質問 川内谷議員 本町の交通安全対策について、次の事項を

伺いたい。

①駅前を中心に国道が渋滞し一部の車は町道に迂回しているが、事故防止と渋滞緩和に係る関係機関との取組について。

②町道旧国道5号線は、大型車(4トン以上)が進出禁止だが、誤進入するおそれがあるため、分かりやすい標識や改善処置が必要と考えるが、見解について。

答弁 齊藤町長 ①改善に向け、国、道、余市町、ネクスコ東日本、北海道警察の5者による協議を継続実施しており、余市インターチェンジ料金所の運用変更、誘導看板設置、信号現示などの見直しを実施しています。

②自動車の通行止め標識は北海道公安委員会の管轄であり、要望は地域を管轄する警察署を通じてお伝えします。

新規漁業者に対する 助成について

質問 川内谷議員 本町の新規漁業者に対する助成について、次の事項を伺いたい。

①新規漁業者に対する本町の取組について。

②近隣町村では新規漁業者に対して助成金を交付しており、従事者問題に対して施策になり得

ると考えるが、見解について。

答弁 齊藤町長 ①②地域おこし協力隊を活用して、余市町水産支援員として漁業や漁法に関する研修を通じて必要な知識と技術の習得や漁業支援活動を経験してもらい、漁業に従事しやすくなるよう取り組んでおり、今後も近隣町村の動向などを踏まえ有効な取組について検討します。

質問 川内谷議員 漁業はお金がかかるため選択肢として難しい職業だが、そこをフォローできる施策や需要が増える施策があってもよいと考えるが、見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 必要な支援に関しては漁業協同組合に対して行っており、人に対する支援の意見も吸い上げています。



町道旧国道5号線に向かう交差点

一般質問

ジャストミートあたる議員

(無会派)

北星余市高校生徒の大麻所持・使用問題による補助金の妥当性について

質問 ジャストミートあたる議員

4月26日の北海道新聞で北星余市高校の生徒3人が大麻をネットで購入し、町内の海岸で吸引、退学処分を受ける報道がされたが、以前から同校の補助金の妥当性に疑問を感じており、改めて年間約80万円の補助金は妥当なのか、問題を起した高校よりも余市町で育っていく小学生、中学生、それを支える子ども食堂に予算を割くべきと考えるが、見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 令和6年度は北星学園余市高等学校から交付申請書の提出を受け、現在申請内容の精査を行っており、審査の結果交付すべきと認められる場合は、予算の範囲内で補助金を交付します。

質問 ジャストミートあたる議員 適切なら補助するということだが、私が危惧しているのは余市町で大麻が拡散することであり、3人はネット上で入手し、昨年の4月から秋にかけて町内

の海岸で吸引したということは、半年程度継続的に大麻を海岸で吸っていたことになり、この3人から半年間で余市町の同年代に広がっているおそれが十分にあり、それが推測され、補助金は適切でないと考えて見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 申請書を基に適切と判断すれば出すことになる。

質問 ジャストミートあたる議員 今年以降の補助金を交付するに当たって今回の大麻問題は考慮するのか。

答弁 齊藤町長 私学に対する補助金と大麻問題は別の論点であり、大麻問題と北星余市の補助金は関連ありません。

質問 ジャストミートあたる議員 同校は私学助成金も入っており、同グループ学園大学にも数億円の補助金が支払われているが、本来なら戒めの意味を込めて打ちりだと考えるが、やはり申請が来たら自動的に補助するのか。

答弁 齊藤町長 本町の条例に基づき補助金は申請内容が適切であれば補助金を出しますし、適切でなければ出せませんということになり、それだけの話です。

岸本 好且 議員

(よいち未来)

都市公園予定地の周辺整備について

質問 岸本議員 都市公園予定地は昭和56年に都市公園区域にすることが議決され、翌年から用地取得してきたが、これが42年もの間都市計画決定に至らない理由について伺いたい。

答弁 齊藤町長 社会情勢の変化や人口減少などから既存公園の活用や再編、長寿命化に重点的に取り組む必要があり、当該予定地は都市計画決定に至っていません。

質問 岸本議員 現在町、国、道指定の雪捨て場だが、今後雪捨てをほかの場所に変更する考えはないか。

答弁 齊藤町長 同等規模の敷地確保が困難であり変更は考えていません。

質問 岸本議員 緊急避難場所として津波、洪水、土砂災害に対する安全性に影響があると指摘されているが対策について伺いたい。

答弁 齊藤町長 一時的に命を守るために避難する指定緊急避

難所に指定しており、旧ガイドマップでは津波は除外していましたが、再評価を行い令和6年2月の修正版で津波も適用としています。

質問 岸本議員 雪解け水や雨水の影響で、特に春先は地面の乾きが非常に遅いが、排水溝の整備について伺いたい。

答弁 齊藤町長 春先の雪解けや夏場の雨天時でも敷地内と既存の排水で処理できているため、排水溝を整備する予定はありません。

質問 岸本議員 大型ダンプの走行による地盤沈下が年々進行しているが対策について伺いたい。

答弁 齊藤町長 通行車両等への注意喚起や、走行に支障を来さない維持管理の対策について適時検討します。

質問 岸本議員 隣接する「中の川」は雑木等で非常に流れが悪くバックウォーターが懸念されるが、道の河川管理者との連携について伺いたい。

答弁 齊藤町長 通常巡回で河川支障物などを確認した場合は、関係機関と情報共有を図り河川施設の適切な維持管理を要望します。

質問 岸本議員 多くの町民や町外の方々が利用できる総合公



都市公園予定地

園を造る考えはないか。
答弁 齊藤町長 既存公園の再編等の必要が生じるため、新たな公園の整備は困難と考えます。

議員派遣型の懇談会

どこでも余市町議会

【議員が出向いて懇談します。】

- ◎対象団体 町内で活動している5名以上の各種団体(例:区会、老人クラブ、各種経済団体等)
- ◎開催概要 場所は応募団体が指定する会場
時間は90分程度
テーマは応募団体の要望に基づくもの
※開催に関する詳細は事前に協議させていただきます。
- ◎申込方法 実施希望日の1ヵ月前までに議会事務局へ申込書を提出
(直接・郵送・FAX・メールのいずれかの方法)
- ◎その他 派遣に係る経費は無料です。
開催に係る会場費は、原則、応募団体の負担となります。
不明な点はお気軽に事務局へお問い合わせください。
- ◎申込書は以下からもダウンロードできます。
<https://www.town.yoichi.hokkaido.jp/gikai/gikaidayori/2024-0620-1303-26.html>



議会日誌

5月

- 29日 議会運営委員会
- 29日 北海道新幹線建設促進後志・小樽期成会総会
- 29日 北海道横断自動車道黒松内・小樽間建設促進期成会総会
- 29日 後志総合開発期成会後志要望行動
- 30日 第3回臨時会
- 31日 後志総合開発期成会北海道要望行動

6月

- 6日 民生教育常任委員会
- 7日 総務産建常任委員会
- 7日 後志総合開発期成会中央要望行動
- 11日 後志町村議会議長会臨時総会
- 11日 北海道町村議会議長会定期総会
- 12日 民生教育常任委員会
- 14日 議会運営委員会
- 21日 議会運営委員会
- 22日 議会運営委員会
- 24～26日 第2回定例会
- 26日 議員協議会
- 29～30日 北海道女性議員協議会総会

7月

- 2日 北海道町村議会議長会議員研修会
- 4日 鹿児島県曾於市議会行政視察来訪
- 5日 山形県上山市議会行政視察来訪
- 9日 静岡県伊豆の国市議会行政視察来訪
- 10日 愛知県一宮市議会行政視察来訪
- 17日 総務産建常任委員会
- 19日 議会運営委員会
- 22日 第4回臨時会
- 23日 千葉県流山市議会行政視察来訪
- 25日 北後志消防・衛生施設組合議会
- 30日 北海道名寄市議会行政視察来訪
- 31日 民生教育常任委員会

8月

- 2日 新潟県燕市議会行政視察来訪
- 6日 岐阜県高山市議会行政視察来訪
- 7日 国道229号余市・岩内・島牧間整備促進期成会総会
- 8日 長野県上田市議会行政視察来訪
- 19日 総務産建常任委員会

編集後記

令和5年の改選から1年が過ぎますが議会構成は女性議員が増え5名となり今期の第2回定例会では8名の議員により一般質問が提出され活気に満ちた議論がなされています。また、これまで実施してきた議会懇談会から、より町民の声を町政に反映させる取組として新たに議員を派遣して行う「どこでも余市町議会」を7月1日から募集しています。多くの団体からの申込みをお待ちしています。

二元代表制での執行機関である首長と議決機関である議会の究極の目的は町民に最大の幸福をもたらすことであり、町長も議員もその責務を果たすことが重要です。第2回定例会でも住民サービス向上に視点が置かれた質疑がなされました。時代は国内外を問わず混沌としており予断を許さない状況にあります。あらゆる価値観も大きく変化しつつある中で議会も変革の時を迎えています。

古のこともわざ「最も変化に敏感なものが生き残る」とあります。余市町議会も時代の変化を的確かつ敏感に捉え、余市町百年の計に立って新たな一歩を踏み出すことを願います。

総務産建常任委員会
委員 庄 巖 龍